

2007年第4回定例会・反対討論（12・17）

私は、日本共産党を代表して、各委員長報告に対しての反対討論を行います。

最初に、議第97号・平成19年度大分市一般会計補正予算（第3号）についてです。今回の補正予算は人件費の調整などが主なものであります。

第10款教育費・6項保健体育費・8目学校給食共同調理場費にかかわって、債務負担行為（仮称）大分市学校給食東部共同調理場調理等業務委託料・限度額3億5700万円が計上されています。これは、東部共同調理場の調理部門を3年契約で、民間委託しようとするものです。

この共同調理場建設は、何よりも効率が第一の行政改革の一環として提案されたものであり、義務教育を行政改革の犠牲にさせてはなりません。

また、学校給食法第1条には「目的」、第2条には、「日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養うこと」などの4つの目標が掲げられています。こうした目的・目標からするならば、自校方式・直営でおこなうことが、その教育効果を発揮できると考えます。さらに、学校給食の責任や調理場内での指揮系統などを考えれば、直営でおこなうことが望ましいと考えます。

以上の理由から、議第97号に反対します。

つぎに、議第111号・大分市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正についてです。これは許可手数料の額を4千円から1万円に引き上げようとするものです。改定の理由に、許可業者数の増加を抑えることにより、業者間の過当競争による不適正処理の抑制、許可業務に要する経費との乖離、他の中核市との均衡をあげています。

許可業者数の増加を抑えるといいますが、許可手数料の値上げで抑えるべきものではありませんし、不適正処理は行政指導でおこなうべきものです。

許可業務にかかわる人件費や諸費用からも引き上げが必要としていますが、昭和47年に条例制定してから、実質的な値上げはおこなっていません。不況のなかできびしい営業を余儀なくされているこの時期に、2・5倍もの値上げは異常ともいえます。

以上の理由から、議第111号に反対します。

最後に、請願・陳情についてです。

平成19年請願第3号・後期高齢者医療制度の凍結、撤回を求める意見書提出方についてです。委員長報告は不採択です。

まず、意見書の提出方を求める請願については、請願者の思いを受けとめ、全会派で一致できる内容を探求していくことが、大事ではないかと考えます。

さて、今回の請願についてですが、多くの病気を抱えているハイリスクの高齢者だけをひとまとめにした別建ての医療制度は、世界に例をみないものです。すでに2006年10月より、長期入院患者での食費・居住費の負担増、現役並所得者の2割から3割負担への引き上げが実施されました。後期高齢者医療制度は、さらに高齢者に負担をおしつけ、医者にかかりにくくする内容といっても過言ではありません。凍結や中止などを求めることは重要なことです。それを不採択にしたことは許せません。

よって、平成19年請願第3号の不採択に反対します。

平成19年請願第4号・最低保障年金制度の実現を求める意見書提出方についてです。これも委員長報告は不採択です。

「消えた年金」の解決は、国民的な願いです。ところが、舛添厚生労働大臣は「作業はエンドレスで、できないこともある」などと発言し、全面解決を断念しようとしています。

安倍前首相は「最後のお一人にいたるまで、責任をもって年金をお支払いすることをお約束します」と参院選挙で公約しています。福田首相は、10月の所信表明演説で、この問題の解決を言及しています。さらに舛添厚生労働大臣も、関係者の処分まで含めて解決すると繰り返し言明していました。こうした公約や発言を反故にしかねない状況です。

年金問題で一番大事なことは、国民にとってどうかということです。事態の全容と責任の所在をはっきりさせること、なぜ政府に解決できないのか、どうすれば解決できるのかということなど、衆知をみつめることが大事です。

「消えた年金」問題を完全解決するためにも、請願を採択し、意見書をあげるべきです。

社会保険庁の調査で、資格期間が足らずに無年金になっている人と、今後保険料を払っても受給資格に達しない人をあわせると、118万人になることがあきらかになりました。

また国民年金受給者900万人の平均受給月額が4万6,000円とされています。年金の納付率が減少していることも深刻な事態です。全国市長会も最低保障年金制度創設の提案をしていることは意義あることです。政府においても対策をとる動きがあることも聞き及んでいます。市議会としても意見書を上げ、早期に制度が実現するように働きかけることは重要です。それを不採択にしたことは納得いきません。

よって、平成19年請願第4号の不採択に反対します。

以上で討論を終わります。